1.	本情	報										
事務	事業	024		· * * *	5拉公会	センター運営事	**			担当部	教育部	
番	事業号	0248	83 事務事	業名 子	产校科良	(セノダー連合事)	美			担当課	学校給食課	
政策名 004 はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じ					と生涯を通じて	学びあう力を	至育むまちづくり)	担	⊒当課長	西溜 和幸		
施策名 001 立志と将来への希望を育む学校教育の充実					校教育の充実			7	ブループ	学校給食管理グル	ープ	
基本事	基本事業名 003 安全で安心な学校づくりと食育・体育の推進			育・体育の推進			内	線番号	3921			
予	会計	一般名	会計				事業	単年度のみ				
算	款	10	教育費				期間	単年度繰返 (開始	年度		昭和57年度	~)
科	科 項 07 保健体育費				知旧	期間限定複数年度	(~)		
目 目 05 学校給食費				根拠法令・条例等	学校給食法							
評価区分 標準評価 評価対象 2次評価			関連計画	特になし								

2.事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1)事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述) 学校給食法第1条に基づき、国分(単独調理場を除く)・隼人・溝辺・横川・牧園・霧島・福山の7学校給食センターにおいて、市内の小・中学

校、幼稚園での給食を実施し、次の基本方針等による学校給食の充実に努める。 【安全安心な学校給食の運営】学校給食衛生管理基準に基づき、安全安心な学校給食に努める。また、施設面でも、衛生基準に適合させるため、給食施設の計画的な整備を行っていくとともに、給食内容の充実と業務の効率化を図る。 【食に関する指導の充実】学校給食を生きた教材として活用し、様々な体験活動を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全

な食生活を実践するこ

・ 生活を実践することができるようにする。また、栄養教諭の派遣等を通して、「食に関する指導」の充実を図る。 【地産地消の推進】霧島市の豊かな食材を学校給食に活かしながら、安全で安心な季節感のある、おいしい学校給食を提供する。また、関係 機関と連携しながら地場産食材の活用を推進することにより、心身ともに健全な子ども達の育成を図る。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3 (見込)	年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 給食の提供数(給食実施日数1日あたり)	食	7,678	7,638	7,638	7,587	7,587
イ 地場産食材(市内産)の購入割合	%	29.60	29	29.50	29	29
ウ 食に関する指導の実施回数(延べ)	回	192	200	195	200	200
(2)事務事業の目的						

	- / - 12 - 12 - 1							
	対象 性、何を対象にしているのか)		単1世	令和 2年度 (実績)	令和 3 (見込)	年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア	児童生徒、園児	学校給食センターから配食される小中学校の 児童生徒、園児	人	6,962	6,912	6,912	6,865	6,865
1								
ゥ								
j	意図 対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の 達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3 (目標)	年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア	正しい食習慣を身につける	朝食を食べない子どもの割合(小5、中2)	%	1.56	2	1.76	2	2
1	偏食をなくす	一人当たりの残食の量(年間)	k g	5.59	5	6.32	5	5
ゥ								

(3)総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より) スクールガードリーダーや防犯ボランティア等との連携をはじめ、地域・学校・家庭が一体となって、児童生徒の登下校時の安全確保に努めま

。 また、耐震化や老朽化対策を通じて、学校施設の長寿命化を図るとともに、社会環境の変化等に伴う多様なニーズに即した施設整備を行 より、安全で質の高い学校づくりを推進します。 さらに、生涯にわたって健康的な生活を送るために必要な体力の向上や生活習慣の形成、食育の取組を通じて、健やかな体を育みます。 学校施設の長寿命化を図るとともに、社会環境の変化等に伴う多様なニーズに即した施設整備を行うこと

3.前年度の評価表に記載した課題	\prod
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
学校給食施設について、少子化による児童生徒数の減少などを考慮し 学校給食値賞智能の答印を未とに、る児童に強いが配置房機を を必要的では、一般では、一般では、一般では、 とれば、一般では、一般では、 、とれば、一般では、 、とれば、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	

4 .						単位	決算	当初予算	· 決算	当初予算	計画
		財	国庫	■支出	出金	千円	0	0	0	0	0
	事	源	県 :	支 出	金	千円	0	0	0	0	0
	業	内	地	方	債	千円	0	121,800	121,700	156,300	156,300
投	費	訳	そ	の	他	千円	27	30	31	30	30
入			— f	般 財	源	千円	383,872	322,003	317,185	326,384	326,384
量	事業費					千円	383,899	443,833	438,916	482,714	482,714

2年 座

5.令和 3年度の実績及び成果

- (1)令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
- ・センター所長会の実施(年4回実施) ・施設や設備の老朽化による故障・修繕に対し適宜対応した。
- ・主な修繕及び備品等の購入の実績
- (修繕)隼人学校給食センター:床下点検口修繕 他125件、約6,375千
- -(備品購入費)溝辺学校給食センター:炊飯システム、隼人学校給食セ ンター:食器洗浄機並びに棚回転式食器消毒保管機 他38件 約135,507
- イア ・市内に配置されている栄養教諭を中心に「食に関する指導」を年間19 5回実施した
- ・霧島学校給食センターにおいて、今後、安定した給食提 う3年間の備品更新及び施設改修計画の作成に取り組んだ 安定した給食提供ができるよ
- 溝辺及び霧島学校給食センターに、調理員の熱中症対策として、空調 設備を設置した。

- (2)令和3年度の成果 〈左記の実績(取組)による成果を記載〉
- ・センター所長会を年間4回実施し情報を共有することで、業務の連携

3年度

1年度

5年帝

- 全安心な給食施設の機能を向上させることができた。 ・「食に関する指導」を通じて、児童生徒に対し朝食摂取やバランスの 取れた食事の重要性等についての理解を深めさせるとともに、家族と団 らんをしながら食事をする「共食」を推奨する等、健康な心身を育み、
- | スペランスステット | スペランスステット | は成ないオを育め、 | 将来に向けて良好な食習慣の形成を図ることができた。 |・霧島学校給食センターにおいて、施設改修計画を進めるため、令和4年度に施設改修設計業務委託を行うための予算措置を講じることが出来
- -。 ・溝辺及び霧島学校給食センターにおいては、空調設備を設置したこと で、調理場内の職場環境の改善が図られた。

事務番	事業 号	02483	事務 事業名	学校給食	食センター運							教育部 学校給食課			
		<see (ch<="" th=""><th></th><th>*</th><th>1/11 </th><th>ンプリナナかっ</th><th></th><th colspan="5">・この重要なかぜまが行わかけわげからかしですか?</th><th></th></see>		*	1/11 	ンプリナナかっ		・この重要なかぜまが行わかけわげからかしですか?							
A B		この事業の日		・ の目的、取	(組方針に結びつ)	10いまりか?		この事業をなぜ市が行わなければならないですか?税金を投入して達成する目的ですか?							
的		結びつい	ハている					市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である							
妥当		間接的	に結びついている	ა				市が実施することは妥当である							
性		結びつい	ハていない					見	直す必要がある						
		成果が向上す	「る余地(可能性	E)はありま	せんか?			廃止・ク	木止の影響はありま	きせんか?)				
B 有		向上する	る余地はかなりる	 ある				影	響がある						
効		向上する	る余地はある程度	 度ある				影!	響はある程度ある						
性		向上する	る余地はほとんど	 どない				影!	響はほとんどない						
		・事務事業の)手段(やり方)	を工夫することで、事業費を削減できませんか? かけて、市の負担を削減できませんか?				・事務事	業の手段(やり方) 外の対応や委託により				時間)を削り	咸できません	か?
C		削減でき		ווי אַ לוינו	の負担を削減して	: x e // // !			減できない		HUM CCA	<u> </u>			
効率			る余地はある程度						減する余地はある	印度ます					
性										注反のも					
D	,	削減でき 事務事業の内	さる 内容が一部の受益	者に偏って	いませんか?			HU	減できる						
公				(確保されて	確保されていますか?										
平性			公正である												
11±			必要がある ヘギルを地 った	基準 総合評価				l .			TIER ets				
		MS (合評価判定基	<u>\$4</u>		総合計		給食の提供)	及び食に関する	る指導	理由 こよりI	Eしい食生活	や偏食を	をなくす	
B :事業	:継続して取り組むことが適当(やり方改善:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討:事業の統合、休・廃止の検討				格 (とで健康な体を育むことができる。学校給食法第11条により、 以外の学校給食事業にかかる費用は市が負担することとなっ 廃止した場合は、保護者の負担増及び児童生徒の体力や栄養 の低下につながる。施設の統廃合や調理業務の民間委託によ 理費や人件費の削減の余地はあるが、別途、統廃合にかかる。 理業務の委託料が発生する。					っており §バラン より維持	、 'ス 菅	
7 . 1	. 1 次評価結果 < PLAN (Action				 ion - Plan)>(組織決定)					【参 < <		をの改革改善の方向 ・ やり方改善	性 > >		
				の事 方業	拡										
l	A 40	_ =====================================	IV	向品	維 縮							レ			
(1) の方向		※後の事務事業の改革改善		果	休廃止(紹										
							빝	旨 減	編 小 コスト技			維持	打	広 大	
` ′	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	4年度の改 達 組 むべき	革改善の内容 課題)	の答申	∃をもとに、‡	化部地区の給	食施設σ	D統廃合等に	は に 電生 に で に で に で の 備	数の減 置の見	少など 直しを	を考慮し、学 進め、予算要	要求を行	う。併t	せて
		5年度の方向 な取組)		島学校	は給食センター こ、より安全な	−においては な給食を提供	、厨房機 できるよ	機器等の備品 にう、調理及	事業費を積算 更新計画に基 び配送業務に よう、栄養教	づき予 ついて	算要求 民間業	を行う。 者への委託も	も併せて	検討する	3.
8 . 2		 価結果 (‡		<u></u>							氏名				
	- 10 (11)			の事	拡				***************************************	1-74		,1			
				向(維 縮										
(1) の方向		の事務事詞	業の改革改善	果											
	. =						빝	旨 減	縮小コスト投			維持	打	広 大	
(2)	総評						ı		1A []	<u>σν (]</u>	· <i>异)</i>	राजा≖			

 事務事業 番号
 9
 学校給食センター運営事業
 担当部 教育部

 担当課 学校給食課

9.コストの推移

(単位:千円)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(当初予算)	令和 5年度(計画)
0 1 報 酬	1,100	1,160	1,160
0 2 給 料	101,219	109,488	109,488
0 3 職 員 手 当 等	23,732	23,907	23,907
0 4 共 済 費	0	0	0
0 5 災 害 補 償 費	0	0	0
06 恩 給 及 び 退 職 年 金	0	0	0
0 7 賃 金	0	0	0
08報 償 費	0	18	18
0 9 旅 費	165	165	165
10交際費	0	0	0
1 1 需 用 費	69,930	69,805	69,805
消耗品費	9,469	9,010	9,010
燃料費	13,875	13,607	13,607
食 糧 費	0	0	0
印刷製本費	133	557	557
光 熱 水 費	40,079	39,841	39,841
修繕料	6,374	6,790	6,790
賄 材 料 費	0	0	0
飼 料 費	0	0	0
医 薬 材 料 費	0	0	0
1 2 役 務 費	2,366	3,983	3,983
通信運搬費	962	1,157	1,157
広 告 料	0	0	0
手 数 料	875	2,310	2,310
保 険 料	529	516	516
13 委 託 料	88,362	96,206	96,206
14 使 用 料 及 び 賃 借 料	3,810	7,615	7,615
15 工 事 請 負 費	11,568	0	0
16 原 材 料 費	0	0	0
17公有財産購入費	770	0	0
18備品購入費	135,507	169,986	169,986
19 負担金補助及び交付金 20 扶	211	211	211
	0	0	0
21 貸 付 金 22 補 償 補 填 及 び 賠 償 金	0	0	0
23 償還金利子及び割引料	0	0	0
24投資及び出資金	0	0	0
2.5 積 立 金	0	0	0
26 寄 附 金	0	0	0
2 7 公 課 費	176	170	170
2 8 繰 出 金	0	0	0
計	438,916	482,714	482,714
	0	0	0
対	0	0	0
源 炭 世 方 債	121,700	156,300	156,300
対 探 内 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	31	30	30
一般財源	317,185	326,384	326,384
計	438,916	482,714	482,714

令和 3年度 補正・流用状況

当初予算	443,833
補正予算	-1,500
補正第17号	-1,500
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
流用・充用	-209
予算合計	442,124

令和 3年度当初予算には令和 2年度からの繰越分を含む

令和 3年度 特定財源内訳

区分	名称	金額
地方債	合併特例債	121,700
その他	雑入	31
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
·		0
·		0
	合 計	121,731

1.1	本情	報								
事務	事業	0246	0.6 = 70 = 3	東羽東米久 国公地区小山学校经会举孙翔珊县海党東米			5 車 米	担当部	教育部	
事務事業 02486 事務事業名 国分地区小中学校給食単独調理場運営事業				当争耒	担当課	学校給食課				
政策	€名	004 はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)						担当課長	西溜 和幸	
施策名 001 立志と将来への希望を育む学校教育の充実					む学校教育の充実			グループ	学校給食管理グループ	プ
基本事	事業名	003	安全で安心な	学校づくり	と食育・体育の推進			内線番号	3921	
予	会計	一般名	会計			事業	単年度のみ	-		
算	款	10	教育費			期間	単年度繰返 (開始年度		昭和37年度	~)
科 項 07 保健体育費						初间	期間限定複数年度(~)
目 目 05 学校給食費						根拠法令・条例等	学校給食法			
≕価	区分		煙淮 並価	並価対象	1 次証価	関連計画	性にかし.			

2.事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1)事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、 詳細を記述)

学校給食法第1条に基づき、国分地区の市立小中学校(センター方式を除く)での給食を実施し、次の基本方針等による学校給食の充実に努める

学校給食衛生管理基準に基づき、安全安心な学校給食に努める。また、施設面でも衛生基準に適合させるため 【安全安心な学校給食の運営】

なるためでは、 総食施設の計画的な整備を行っていくとともに、給食内容の充実と業務の効率化を図る。 【食に関する指導の充実】 学校給食を生きた教材として活用し、様々な体験活動を通じて、食に関する知識と食を選択する力を修得し、健全 な食生活を実践することができるようにする。また、栄養教諭の派遣等な 【地産地消の推進】 霧島市の豊かな食材を学校給食に活かしながら、 、栄養教諭の派遣等を通して、「食に関する指導」の充実を図る。 合食に活かしながら、安全で安心な季節感のあるおいしい学校給食を提供する。また、関係機

関と連携しながら地場産食材の活用を推進することにより、心身ともに健全な子供たちの育成を図る。

7	舌動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込) (実績)		令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア	給食の提供数(給食実施日数1日あたり)	食	4,429	4,478	4,478	4,450	4,450
1	地場産食材(市内産)の購入割合	%	25.30	35	29.10	35	35
ゥ	食に関する指導の実施回数 (延べ)	回	119	100	101	100	100

(2) 南政南米の日的

LC.	2)争務争業の日的							
	付象	対象指標 (左記 対象の	単位	令和 2年度				令和 5年度
(言	性、何を対象にしているのか)	大きさを表す指標)	+12	(実績)	(見込)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	児童生徒	国分地区の自校方式の小中学校の児童生徒	人	4,087	4,124	4,124	4,100	4,100
1								
ゥ								
1	意図	成果指標 (左記 意図の	24 A-	令和 2年度	令和 3	年度	令和 4年度	令和 5年度
(対象をどうしたいのか)	達成度を表す指標)	単位	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	正しい食習慣を身につける	朝食を食べない子供の数(小5、中2)	%	2.11	1.50	1.90	1.50	1.50
1	偏食をなくする	一人当たりの残食の量(年間)	k g	3	3	3	3	3
ゥ								

(3)総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より) スクールガードリーダーや防犯ボランティア等との連携をはじめ、地域・学校・家庭が一体となって、児童生徒の登下校時の安全確保に努めま

。 また、耐震化や老朽化対策を通じて、学校施設の長寿命化を図るとともに、社会環境の変化等に伴う多様なニーズに即した施設整備を行 より、安全で質の高い学校づくりを推進します。 さらに、生涯にわたって健康的な生活を送るために必要な体力の向上や生活習慣の形成、食育の取組を通じて、健やかな体を育みます。 学校施設の長寿命化を図るとともに、社会環境の変化等に伴う多様なニーズに即した施設整備を行うこと

3.前年度の評価表に記載した課題 令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 霧島市学校給食運営審議会で、国分地区ウェット方式単独調理場の今の方向性について答申を受けたことにより、半ドライ方式で運用をしいる言葉小学校を含めた国分地区4枚の給食施設を集約した新たな給食施設について引き続き検討を行う。

4 .	事業	黄	か推	移		単位	決算	当初予算	-及 決算	当初予算	計画
		訳	国盾	支出	出金	千円	0	0	0	0	0
	事		県 3	支 出	金	千円	0	0	0	0	0
	葉 内		地	方	債	千円	0	0	0	0	0
投			そ	の	他	千円	0	0	0	0	0
λ			— f	設 財	源	千円	100,920	105,915	104,158	108,321	108,321
量		事	業費	ŀ		千円	100,920	105,915	104,158	108,321	108,321
i 1	l						I				

2年 苺

5.令和 3年度の実績及び成果

- (1)令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
- ・施設や設備の老朽化による故障・修繕に対しては、適宜対応をした。
- 主な修繕及び備品等の購入
 - (国分北小)給食室ボイラー給水管漏水修繕
 - (青葉小)ガス式回転釜修繕 (国分小)牛乳保冷庫購入

 - (向花小) 真空冷却機修繕
 - (国分南小)真空冷却機修繕
 - (国分中) フードスライサー購入
- (国分南中) 網戸張替修繕 (舞鶴中) フードスライサー修繕 食に関する指導の計画的な実施
- ・各調理場に調理員の熱中症対策として、空調設備を設置した。

- (2)令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
- ・老朽化による故障・修繕や備品等の買替えによる設備の更新により 適宜対応した結果、安全安心な給食施設の機能を向上させることができ

2年 庄

1年度

5年度

- ・・食に関する指導を計画的に実施できたことにより、正しい知識・食習慣についての理解を深めることができた。 ・空調設備を設置したことで、調理場内の職場環境の改善が図られた。

事務事業 02486 事務 番号 事業名			国分地区小中学校給食単独調理場運営事業				業 担当部 教育部 担当課 学校給食課						
6.振返り <see(check)></see(check)>				の目的 取	組方針に結びつい	\ でいますか?		・この事業をなぜ市が行わなければならないですか?					
A 目	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか?							・この争業をなど中か打かはければならないですか? ・税金を投入して達成する目的ですか?					
的	結びついている						市	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である					
妥当	間接的に結びついている						市	が実施することは妥当であ	5				
性	結びついていない						見:	直す必要がある					
В	成果が向上する余地(可能性)はありませんか?							廃止・ク	廃止・休止の影響はありませんか?				
有	向上する余地はかなりある							影響がある					
効性	向上する余地はある程度ある							影響はある程度ある					
1±	向上する余地はほとんどない							影	影響はほとんどない				
	・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか? ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか?							事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務新間)を削減できませんか?職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか?					
C 効	削減できない							削減できない					
率		削減する	る余地はある程度	 复ある				削	削減する余地はある程度ある				
性		削減でき	5る					削減できる					
D			容が一部の受益 負担の公平性が										
公亚			受担の公十任か 公正である	唯体とれて	114977.			1					
平性			必要がある					1					
			う 会評価判定基	 L 準					理由				
B :事業:	A:継続して取り組むことが適当(やり方改善 B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討				· /\		١	給食の提供及び食に関する指導により正しい食生活や偏食をなくすことで健康な体を育むことができる。学校給食法第11条により、食材費以外の学校給食事業にかかる費用は市が負担することとなっており、廃止した場合は、保護者の負担増及び児童生徒の体力や栄養バランスの低下につながる。消耗品等の購入方法の見直しにより事業費の削減の余地はある。					
7.1	次評	面結果 <	PLAN (Acti	on - P	on - Plan) > (組織決定)			- 【参考】前年度の改革改善の方向性 < < 継続・やり方改善 > >					
				の事	拡								
	A 44.			向金	維 縮					V			
(!) の方向		ル争物争す	後の改革改善	果	株廃止(統合:								
								皆 減	<u>縮小</u> コスト投入(3	維 持 予算)の方向性	拡大		
` ,	• • • • •	4年度の改 4 組 むべき	i改善の内容 果題)	より、	学校給食運館 半ドライ方式 て引き続き机	式で運用をし	国分地	区ウェット方 青葉小学校を	式単独調理場の今後 含めた国分地区4校	後の方向性について答 の給食施設を集約し	S申を受けたことに た新たな給食施設		
		5年度の方向 な取組)	可性							とともに、他の給食 らよう取り組んでいく			
8 . 2		 価結果 (!	 	 i)					評価者 職	· 氏名			
				の事	拡				, , , , ,	,			
) 今後の事務事業の改革改善 引性		向()	維 縮									
(I) の方向				休廃止(紹									
								皆 減	縮 小 コスト投入 (-	維 持 # 予算)の方向性	拡大		
(2)	総評						1		-// JX// (

事務事業 02486 事務 国分地区小中学校給食単独調理場運営事業 担当部 教育部 担当課 学校給食課

9.コストの推移

(単位:千円)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(当初予算)	令和 5年度(計画)
0 1 報 酬	1,932	2,027	2,027
0 2 給 料	54,158	58,887	58,887
0 3 職 員 手 当 等	12,177	12,764	12,764
0 4 共 済 費	0	0	0
05 災 害 補 償 費	0	0	0
06 恩 給 及 び 退 職 年 金	0	0	0
0 7 賃 金	0	0	0
08報 償費	0	0	0
0 9 旅 費	56	78	78
10 交 際 費	0	0	0
1 1 需 用 費	14,752	13,218	13,218
消 耗 品 費	4,438	4,160	4,160
燃料費	0	0	0
食 糧 費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	6,016	5,858	5,858
修繕料	4,298	3,200	3,200
期 材 料 費	0	0	0
飼料費	0	0	0
医 薬 材 料 費	0	0	0
1 2 役 務 費	332	1,032	1,032
通信運搬費	0	0	0
広 告 料	0	0	0
手 数 料	332	1,032	1,032
保 険 料	0	0	0
13 委 託 料	4,696	5,200	5,200
14 使 用 料 及 び 賃 借 料	6,861	11,762	11,762
15 工 事 請 負 費	5,747	0	0
16原材料費	0	0	0
17公有財産購入費	0	0	0
18備 品 購 入 費	3,394	3,300	3,300
19 負担金補助及び交付金	53	53	53
2 0 扶 助 費	0	0	0
2 1 貸 付 金	0	0	0
22 補償補填及び賠償金	0	0	0
23 償還金利子及び割引料	0	0	0
24投資及び出資金	0	0	0
2 5 積 立 金	0	0	0
2 6 寄 附 金	0	0	0
2 7 公 課 費	0	0	0
2 8 繰 出 金	0	0	0
計	104,158	108,321	108,321
	0	0	0
対源	0	0	0
次 放 地 方 債	0	0	0
H/\	0	0	0
┃	104,158	108,321	108,321
青十	104,158	108,321	108,321

令和 3年度 補正・流用状況

当初予算	105,915
補正予算	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
流用・充用	-1,203 104,712
予算合計	104,712

令和 3年度当初予算には令和 2年度からの繰越分を含む

令和 3年度 特定財源内訳

区分	名称	金額
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
·		0
	合 計	0
	首 訂	